

仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修について

1 基礎研修について

名 称	令和6年度 仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修(基礎研修)
運 営	精神保健福祉総合センター（障害者支援課、障害者総合支援センター、北部・南部発達相談支援センター）
研修方法	(1) 前期（オンデマンド）研修（せんだいTubeによる配信）（令和4～5年度に収録） (2) 後期（集合）研修
研修期間	(1) 令和6年5月24日（金）～6月21日（金） (2) 令和6年11月5日（火） 13：30～17：00
対象者	*相談支援事業所等、及び仙台市内の障害福祉分野関連事業所にて勤務する1～5年目の職員 (1) 相談支援事業所に加え、仙台市内の障害福祉分野関連事業所（共同生活援助、就労継続支援等）、行政職員。 (2) 上記(1)を受講した方で受講を希望する方
参加者	(1) 研修申込者：137名（相談支援事業所、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、就労継続支援事業所、共同生活援助、宿泊型自立訓練、生活介護、訪問介護サービス、地域包括支援センター、行政職員等） 講師：東北福祉大学大学院総合福祉学研究科長 教授 三浦 剛氏 障害者相談支援事業所くれよん 福地 真衣子氏 元障害者相談支援事業所ほっとすぺーす 高梨 直樹氏 障害者相談支援事業所サポートはぎ 高橋 克弥氏 (2) 研修申込定員：先着40名程度 講師：東北福祉大学大学院総合福祉学研究科長 教授 三浦 剛氏 精神障害者当事者家族 難病・内部障害・肢体不自由当事者 各区自立協から選出の企画委員：9名 事務局(障害者支援課、障害者総合支援センター、北部・南部発達相談支援センター、精神保健福祉総合センター)：8名
獲得目標	<個別支援> ① 生活者の視点に立った障害者（児）のニーズを理解する ② ニーズに近づくためのプロセスや考え方・手法を理解する ③ チームアプローチを理解する <地域支援> ① 個別支援で把握した課題を共有する機会の大切さを理解する ② 地域内にある他の事業所を理解する <人材育成> ① 自分の得意不得意を知る ② 自分の研修計画を立てられるようにする
内 容	(1) 約3時間 ①オリエンテーション、研修手帳の説明：8分 ②講義「ケアマネジメント概論」：107分 ③講義「ケアマネジメント実践」 ・障害のある人たちへの支援の原則：12分 ・障害がある人への支援のプロセス：18分 ・地域における連携の要点：22分 (2) 約3時間半 ①事前課題に基づくグループワーク ②前期（オンデマンド）研修の振り返り ③当事者からのメッセージ～当事者・家族の立場から～ ④当事者からのメッセージを受けて改めて自身の支援について考える（個人ワーク・グループワーク） ⑤研修手帳の活用について
研修実施における工夫点	(1) 前期（オンデマンド）研修 オンデマンド研修は対象者拡大にかかる手法として一定の効果があると見込めるため、令和3年度より開始した。令和6年度も障害者支援に関わる関係機関や関係者等に障害者ケアマネジメントの基本的な理念や手法の普及拡大を図る方法として、上記を念頭に置き、前期（オンデマンド）研修の案内を、仙台市内障害福祉関連法人あて送付し、受講対象者拡大を図った。

2 実践研修について

名 称	令和6年度 仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修(実践研修)
運 営	北部・南部発達相談支援センター (障害者支援課, 障害者総合支援センター, 精神保健福祉総合センター)
研修方法	集合形式
研修日時 (予定)	実施日: 令和7年2月5日(水) 時間: 13:30~17:00 場所: 仙台市障害者総合支援センター研修室1
対象者	仙台市内の障害福祉サービス事業所等に所属し、実践経験(所属歴)3年以上の職員
参加者	30名程度
獲得目標	ケアマネジメント従事者養成研修体系における実践編の獲得目標のうち、令和6年度第1回企画会議、第2回企画会議での意見を踏まえ、<個別支援>、<人材育成>における、「チームアプローチを実践できる」を獲得目標と設定する。
内 容	<p>研修テーマ:「実践! チームアプローチ!」</p> <p>(1) 研修の目的 獲得目標を踏まえ、チームアプローチの実践プロセスを振り返り、チームアプローチを円滑に進めるために必要な視点や手法を習得すると共に、本研修を通じ、受講生同士が互いに学び合い、高め合うこと目的とする。</p> <p>(2) 研修講師および実践報告者 研修講師は、大学教授等1名、実践報告者は相談支援事業所等に所属する相談支援専門員等2名を想定する。</p> <p>(3) 研修内容</p> <p>①研修講師および実践者報告者からの講話</p> <p>②グループワーク(意見交換) 受講者同士が自身のチームアプローチの実践を振り返り、研修講師および実践報告者の講話を踏まえ、チームアプローチに必要な視点、手法について意見交換を行う。 なお、受講者に対し「事前アンケート」を実施し、研修までの間に自身のチームアプローチの実践について振り返りの機会を設けることを想定している。</p> <p>③トークセッション グループワークにおいて抽出された意見を複数取り上げ、研修講師と実践報告者の対談、グループワークの内容を踏まえ、受講者も含めた意見交換を行う。</p> <p>④講評 研修を通して研修講師それぞれから講評。</p>
今後の予定	<p>令和6年9月~10月中旬: 研修内容の精査・研修講師および実践報告者を選定</p> <p>令和6年10月下旬: 研修内容・研修講師および実践報告者確定</p> <p>令和6年12月上旬: 研修案内送付</p> <p>令和7年1月中旬: 「事前アンケート」提出締め切り</p>